屋外専用

snow peak
outdoor lifestyle creator since 1958

GS-100

ギガパワー ストーブ 地 CHI

この製品はアウトドア用に開発された屋外専用の直結型こんろです。屋内、車内、テント等では使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死の恐れがあります。屋外であっても狭い空間では換気にご注意ください。使用中または使用直後は器具が熱くなっていますので火傷には十分注意してください。また、お子様が手を触れないようにご注意ください。

取扱説明書

この度はスノーピーク製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。永く安全にご使用いただくためにも本取扱い説明書を必ずお読みください。また、読み終わったあとも大切に保管してください。説明書内に疑問や理解出来ない内容があった場合は、使用前に必ず弊社までお問い合わせください。

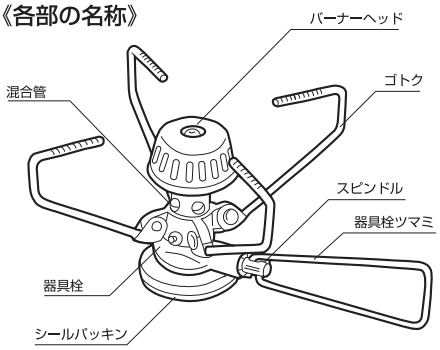
スノーピークの燃焼器具は全数燃焼テストを実施して出荷しております。燃焼テストによりゴトクやバーナーヘッドなどが若干変色していますがご了承ください。

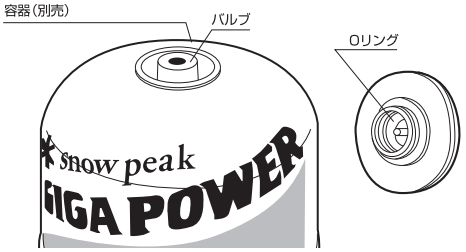
本取扱説明書における警告と注意について

⚠警告:取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

⚠注意:取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害の発生が想定されることを示します。

《各部の名称》





仕　様

品　名	カセットこんろ(直結式)	
型　式	GS-100	
外形寸法	使用時 φ106×H67.5mm	
	収納時 W43×D31×H82mm	
重　量	89g	使用鍋径 14cm以下 容量2.0ℓ以下
ガス消費量	210g／h	
出　力	2500kcal／h 10,000BTU	
専用容器	GP-110S／GP-250S／GP-500S GP-110G／GP-250G／GP-500G	

●ガス消費量および出力は当社試験室にて測定、算出したものです。
●容器は上の表の、SNOWPEAK専用容器のみをお使いください。

容器の取り付け方

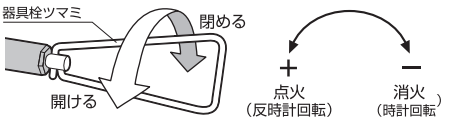
1.器具栓ツマミを正面から見て時計まわりに回し、器具栓を完全に閉めてください。
2.容器を水平にし、容器ネジ部と器具のネジ部の軸線を合わせ、容器の下方から見て時計まわりに、滑らかにねじ込み、自然に止まるよりややきつ目にしめてください。接続部分からガスが漏れていないことをシューという音や臭い等で確認してください。

警告:取り付けの前には必ず器具栓の取り付けネジ部及びOリングの異常が無いか確認してください。異常の際は容器の取付けを絶対にしないでください。

注意:容器の取り付け、取り外しの際は若干ガスが漏れます。火気のあるところや、換気の悪いところでの着脱は引火の恐れがあり危険ですので絶対に行なわないでください。

操作のしかた

1.点火方法
器具栓ツマミを正面から見てゆっくり反時計まわり(左回転)に回して少量のガスを出し、点火用具で点火する。マッチやライターを使うときは前もって火をつけておいてから、器具栓ツマミを操作するとよい。一度で点火できないときは器具栓ツマミを一旦閉じてからやり直してください。



注意:ストーブに着火する際は、周囲に燃えやすいものがないことを確認してください。

2.火力調節
器具栓ツマミを反時計まわり(左回転)に回すと火力が強くなります。時計まわり(右回転)に回すと火力が弱くなります。急いで回転させず静かにゆっくりと回転させ調節をしてください。

3.消火方法
器具栓ツマミを時計まわり(右回転)に止まるまで回して完全に火が消えたことを確認してください。その後ストーブに火を付けない時は、容器をはずしておいた方が安全です。

容器の取り外し方

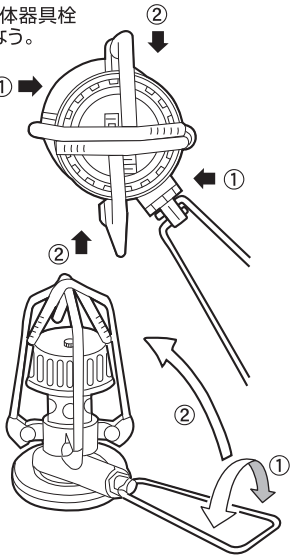
1.ストーブの火が確実に消えていること。又器具が十分冷めていることを確認してください。まだ熱い時には引火するおそれがあります。
2.容器を水平にし、取り付け時とは反対方向に回して、取り外してください。下方よりみて、反時計まわり(左回転)に回す。そしてキャップをして保管してください。

収納のしかた

十分に冷えたストーブ本体器具栓より容器を外した後に行なう。

ゴトクの折りたたみ方
1.まず対向するゴトク2本をバーナーヘッドにあたるまで内側にたたみます。
2.次に残りの2本を先端が先にたたんだ2本の下に入るようにたたんでください。

器具栓ツマミのたたみ方
1.器具栓ツマミが水平になる位置まで回転させます。
2.器具栓ツマミをバーナーヘッドの方向へ折りたたみます。ツマミはバネで戻りますので、押さえた状態でケースに収納してください。



注意:器具を容器に取りつけるときは、器具栓ツマミを必ず時計まわり(右回転)に止まるまで回し器具栓を完全に閉めてください。全閉していないとガスが噴き出し、近くの火気に引火する恐れがあります。

使用上の注意

ガス漏れのあるもの、衝撃を受けたもの、正しく作動しなくなったものは使用しないでください。

1.調理の目的以外に使用しないでください。
2.使用する前に器具栓にゴミやホコリが付着していないことを確認してください。器具栓は常にきれいにして、不用意に地面に置くなどしないでください。ゴミやホコリが付着すると出力を低下させたり、ガスが出ないなど故障の原因になります。
3.ご使用になれる鍋は直径14cm容量2.0ℓを目安にお選びください。大きすぎる鍋は輻射熱による容器の加熱や重量バランスが不安定になり転倒するなど危険です。
4.調理中は、鍋の輻射熱で床面が熱くなります。バーナーシートなど熱を反射するものを敷いてご使用ください。
5.気温や容器の温度によりガス圧が変化し燃焼状態(炎の具合やパワーなど)が変化します。
6.強い風や煮こぼれ等で火が消えることがあります。使用中は目を離さないでください。
7.使用中に異常燃焼が起こった場合はすみやかに火を消して、使用をやめてください。
8.炎にあたる部分や、近い部分は熱により金属が焼けて変色しますが、使用上問題はありません。
9.この器具の付属品あるいは指定されたもの以外は使用しないでください。
10.ガス臭がしたら
決して着火しないでください。
全ての火や炎を消火してください。
容器を取外してください。
11.使用中や使用直後は器具が高温になります。火傷の恐れがありますので直接触れないでください。
12.使用後は布等で汚れをよく落としてください。

点検・手入れのしかた

1.点検やお手入れは必ず行ってください。
2.ご使用の前に器具栓のバルブ接合ネジ部分、Oリングシールパッキンに異常がないか必ず確認してください。摩擦や損傷がある場合は、お買い求めの販売店又は弊社に相談してください。
3.バーナーヘッド部が汚れたら布等でふいて掃除してください。その際、混合管内にゴミ、ホコリが入らないように注意してください。
4.故障または調子の悪いものは絶対に使用しないでください。
5.修理は必ず販売店又は、弊社に依頼してください。お客様による修理は危険ですので絶対にしないでください。

故障・異常の見分け方と処置のしかた

症状＼原因	専用容器を使用していない	容器のネジの異常	器具栓の故障	容器の取り付け不十分	スピンドル不良	容器の異常	バーナー部の目づまり	ノズルの目づまり
専用容器が取り付けられない	✓	✓	✓					
ガスが漏れる			✓	✓	✓			
点火しない						✓	✓	✓
火力が弱い						✓	✓	✓
炎が不揃い							✓	✓
使用中に消える						✓	✓	✓
消火しない			✓					
処置方法	スノーピーク専用容器を使用する	新しい容器と交換する	点検修理を依頼する	容器の取り付け確認	点検修理を依頼する	新しい容器と交換する	壊さない様に布で掃除し汚れをおとす	点検修理を依頼する

●上記の内容をご確認頂き、なお異常のあるときやお分かりにならないときは、お求めの販売店または弊社にご相談ください。
●消火しない場合は周囲の安全を確認し、ガスがなくなるまで燃焼させてください。

アフターサービス

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社にご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換をさせていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。

また、以下のような場合は修理できないこともありますので予めご了承ください。
1.素材の経年劣化による損傷など製品の寿命。
2.誤った使い方や粗雑な取扱いによる故障。
3.改造による故障。
4.取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障。
5.不測の事故による製品の故障。
6.その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
7.ゴミやサビによる故障。
8.分解した事による不具合の発生又は破損。
9.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
10.摩耗によるパーツの変化それによる不具合。
11.他社製品との組み合わせによる故障。

株式会社スノーピーク
〒955-8616 新潟県三条市三貫地958
tel:0256-38-1110 fax:0256-38-1015
www.snowpeak.co.jp

⚠安全上の注意事項

スノーピークガス器具・容器をご使用になるための重要注意事項が説明されています。よくお読みください。そして大切に保管してください。

ご使用前の注意

⚠ 警 告

この器具にはsnowpeak専用容器をご使用ください。それ以外の容器は使用しないでください。また、snowpeakであっても使用できる容器が定められていますので、裏面の専用容器をご覧ください。

■ 理由 ■専用以外の容器はバルブ形状、ノズル太さなど規格が異なります。この基本設計の違いでガス漏れが発生し引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。

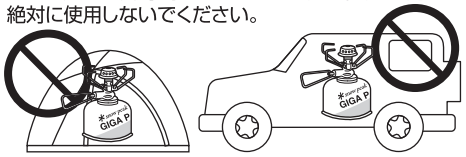
⚠ 警 告

夏場など、焼けて熱い砂浜や川原の石の上、あるいは舗装路面上では使用および放置をしないでください。

■ **理由** ■直射日光を受けた砂浜や川原の石あるいは舗装路面上は高温になっています。その上に容器を放置したり、器具を使用すると容器が過熱され内圧が急激に上昇し異常燃焼をしたり爆発することがあります。

⚠ 警 告

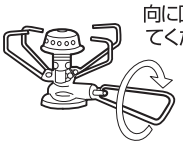
この器具は屋外専用です。テントの中や車中、屋内では絶対に使用しないでください。



■ 理由 ■この器具は屋外専用に設計されています。使用中は酸素を大量に消費します。限られた空間での使用は酸欠、一酸化炭素中毒になることがあり、また火災の危険もあります。

⚠ 警 告

容器を接続する前には、必ず器具栓ツマミを時計回転方向に回し器具栓が閉じていることを確認してください。



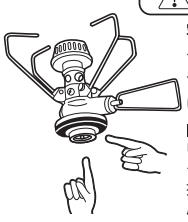
■ 理由 ■収納時や運搬時に器具栓が開いてしまうことがあります。容器接続の際は器具栓が閉まっていることを確認してください。

⚠ 警 告

容器の装着は器具を垂直に立てた状態で行い、決して締めすぎないでください。

■ 理由 ■新しい状態の容器は液状のガスが上部まで入っています。斜めに傾いた状態で取り付けると液状のガスが勢いよく噴出することがあり大変危険です。周辺に火気がないことを確かめ、垂直に立てて装着してください。容器と器具を接続するネジは大変重要な部分です。過大な力で締めこんだり、斜めにねじ込んだりするとガス漏れの原因になります。

⚠ 警 告



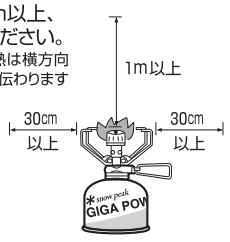
容器接続部分のゴム製のOリングはご使用の都度点検し、摩耗や損傷があるときは弊社若しくは販売店にご相談ください。

■ 理由 ■容器の取り付け、取り外しでOリングが摩耗します。また、ゴム製のOリングは使用しなくても劣化します。劣化したり損傷したOリングを使用するとガス漏れの原因となります。

⚠ 警 告

燃えやすい物から上は1m以上、周囲は30cm以上離してください。

■ 理由 ■風向きにより炎の熱は横方向や下方に流れます。上方には強く伝わりますので火災にならないように燃えやすいものは十分な距離を保ってください。



ご使用中の注意

⚠ 警 告

器具で炭の火起こしは絶対にしないでください。

■ 理由 ■器具を炭の火起こしに使用すると器具そのものやフューエルホース、容器を異常に加熱してしまいます。大変危険ですので絶対に行わないでください。

⚠ 警 告

一つの調理器具に複数の器具を並べて使わないでください。

■ 理由 ■大きな鍋や鉄板など複数の器具ですとお互いの炎で、容器が異常加熱し、容器の内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。

⚠ 警 告

風防や天ぷらガード、石などで器具を囲まないでください。

■ 理由 ■風防や天ぷらガード、石などで囲むと容器が異常に熱を吸収してしまいます。その上にナベなどをのせるとフタをしてしまう形になり異常に温度が上昇して爆発の危険がありますので絶対にしないでください。

⚠ 警 告

ヒーターや焚火など、他の熱源があるところでは使用しないでください。

■ 理由 ■他の熱源により容器が異常加熱し、容器の内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。

⚠ 警 告

鉄板や焼網、セラミクス製品、くん製機などは使用しないでください。

■ 理由 ■鉄板や焼網、セラミクス製品、くん製機などは幅射熱が大きく容器が異常加熱し、容器の内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。

⚠ 警 告

火がついたまま傾けたり振ったり、持ち運ばないでください。

■ 理由 ■傾けたり振ったりすると液状のガスが勢いよく噴出し炎が急に大きくなり、火傷を負う危険があります。

⚠ 警 告

水平で安定した場所でお使いください。

■ 理由 ■傾斜していたり不安定な場所で使用すると、転倒し火傷や火災の危険があります。

⚠ 警 告

調理以外の目的に使用しないでください。

■ 理由 ■暖房や衣類の乾燥など、調理以外の使用は火災や火傷、酸欠など思わぬ事故につながる場合があります。

⚠ 注 意

ご使用後は、器具栓ツマミを時計回転方向（右回転）に最後まで閉めてください。

■ 理由 ■器具栓ツマミを最後まで閉めていないとガスが少量ずつ流れ出て、引火する危険があります。

保管と廃棄の注意

⚠ 警 告

長時間器具を使わないときは容器を取り外してください。器具は付属の収納ケースに入れ、容器にはキャップを取り付けて保管してください。

■ 理由 ■器具栓が不用意に開きガスが漏れることがあります。器具並びに容器の接続部分にゴミやホコリが付着すると故障の原因になります。

⚠ 警 告

容器は40度以下の場所で保管してください。

■ 理由 ■外気温の上昇とともに容器の内圧も上昇します。40度を超えるところや、直射日光の当たるところには保管しないでください。

⚠ 警 告

容器は完全に使い終わってから他のゴミと区別して捨ててください。空の容器でも火の中に投じたり他の熱源のそばに置かないでください。

■ 理由 ■空になった容器でも、微量のガスが残っています。火の中に投じたり他の熱源のそばに置くと内圧が上昇し爆発することがあります。

⚠ 警 告

お子様の手の届かないところに保管してください。

■ 理由 ■お子様に危険が及ばないように、器具や容器はお子様の手の届かないところに保管してください。

⚠ 注 意

容器を時々点検してください。

■ 理由 ■時々容器を点検して、もしサビが発見できた時は、早めに使い切ってください。

⚠ 注 意

使用後は点検・清掃をして、器具をケースに入れ保管しましょう。

■ 理由 ■ストーブに付着した水分・ホコリやゴミが目づまりやサビを起し故障の原因となります。次回問題が出ない様に点検・清掃をしましょう。

その他の注意

⚠ 警 告

容器のガスを故意に吸い込むこと厳禁。

■ 理由 ■もしガスを吸い込むと、酸欠のため窒息死します。絶対にしないでください。

⚠ 警 告

お客様による修理や改造は絶対にしないでください。

■ 理由 ■器具や容器は精密に作られています。改造は性能低下になるばかりか不完全燃焼やガス漏れの原因になることがあります。修理に関しては、販売店または弊社へお問い合わせください。

⚠ 警 告

容器は航空機に持ち込めません。

■ 理由 ■法律により、容器を航空機に持ち込むことはできません。

株式会社スノーピーク
〒955-8616 新潟県三条市三貫地958
tel:0256-38-1110 fax:0256-38-1015
www.snowpeak.co.jp